

令和7年度ネットリサーチ「少子化対策」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 未婚・既婚等の状況については、「既婚」が55.1%と最も高く、次いで「未婚（現在、交際相手がいらないが、過去には交際相手があった）」が11.9%、「未婚（現在、交際相手がいなく、いままで交際経験がない）」が10.8%であった。
- 「1年以内に結婚したい」、「2年から4年以内に結婚したい」及び「5年以上先に結婚したい」と回答した方に、現在独身でいる理由を聞いたところ「経済的に余裕がないから」が34.5%と最も高く、「結婚したい人に巡り合わないから（婚活中ではない）」が24.4%と続く。
- 「いばらき出会いサポートセンター」の認知状況については、「名前もサービス内容も良く知っている（3.1%）」、「名前を知っており、サービス内容もある程度知っている（5.4%）」、「名前は聞いたことがあるが、サービス内容はあまり知らない（11.1%）」及び「名前は聞いたことがあるが、サービス内容は全く知らない（11.5%）」を合わせた【名前を知っている】は31.1%となっている。

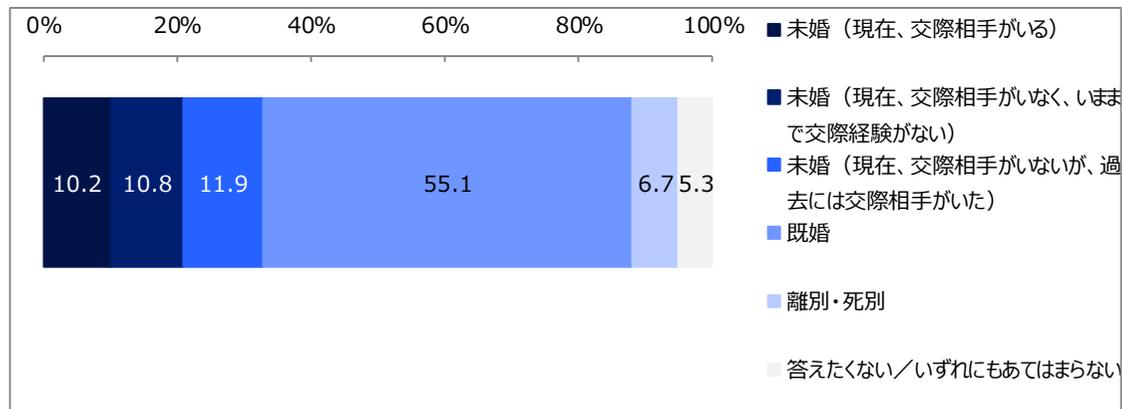
■調査結果の概要

1 未婚・既婚等の状況

- ◇ 「既婚」が55.1%と最も高く、次いで「未婚（現在、交際相手がいらないが、過去には交際相手があった）」が11.9%、「未婚（現在、交際相手がいなく、いままで交際経験がない）」が10.8%であった。

Q1.あなたご自身のことについておたずねします。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
未婚（現在、交際相手がいる）	10.2	102
未婚（現在、交際相手がいなく、いままで交際経験がない）	10.8	108
未婚（現在、交際相手がいらないが、過去には交際相手があった）	11.9	119
既婚	55.1	551
離別・死別	6.7	67
答えたくない／いずれにもあてはまらない	5.3	53

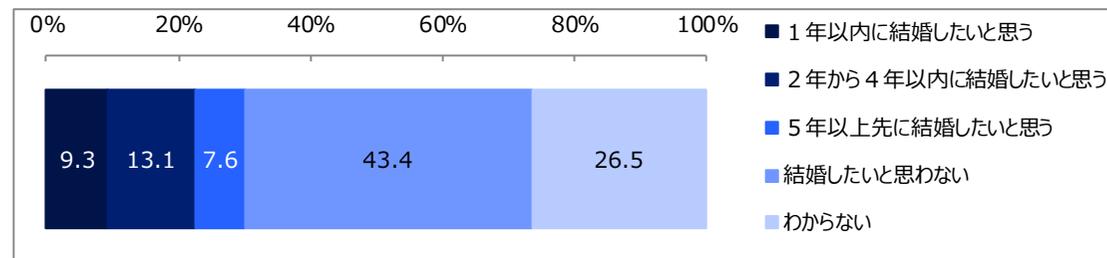


2 結婚についての考え方

- ◇ 「2年から4年以内に結婚したいと思う」が13.1%、「1年以内に結婚したいと思う」が9.3%、「5年以上先に結婚したいと思う」が7.6%となっている。
- ◇ 一方で、「結婚したいと思わない」は43.4%であった。

(Q1で「未婚(現在、交際相手がいる)」「未婚(現在、交際相手がいない、いままで交際経験がない)」「未婚(現在、交際相手がいないが、過去には交際相手があった)」「離別・死別」と答えた方へ)
Q2.あなたは今後、結婚したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	396
1年以内に結婚したいと思う	9.3	37
2年から4年以内に結婚したいと思う	13.1	52
5年以上先に結婚したいと思う	7.6	30
結婚したいと思わない	43.4	172
わからない	26.5	105

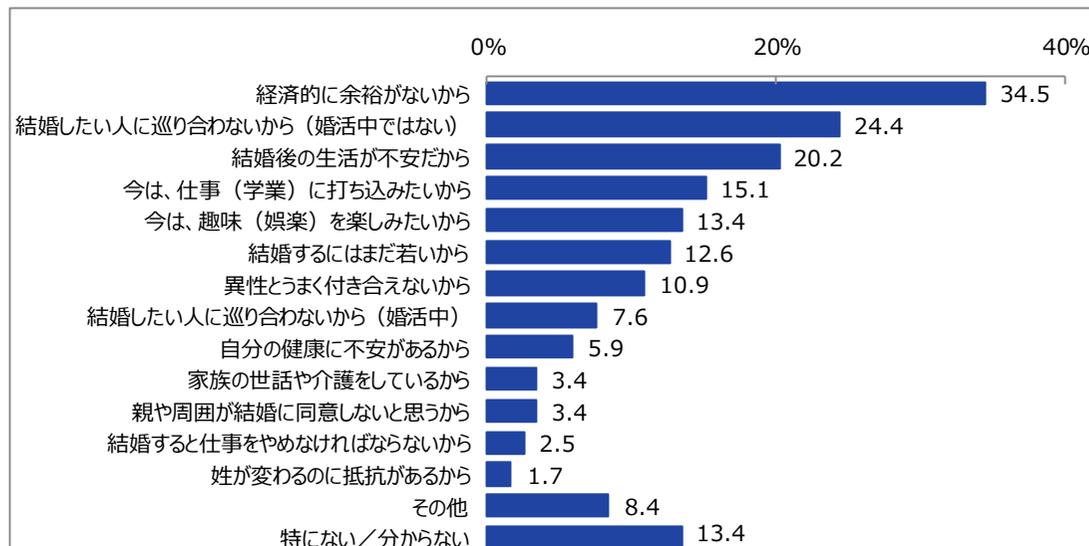


3 独身でいる理由

- ◇ 「経済的に余裕がないから」が34.5%と最も高く、「結婚したい人に巡り合わないから(婚活中ではない)」が24.4%と続く。

(Q2で「1年以内に結婚したいと思う」「2年から4年以内に結婚したいと思う」「5年以上先に結婚したいと思う」を選択した方へ)
Q3.あなたが現在、独身でいる理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	119
経済的に余裕がないから	34.5	41
結婚したい人に巡り合わないから(婚活中ではない)	24.4	29
結婚後の生活が不安だから	20.2	24
今は、仕事(学業)に打ち込みたいから	15.1	18
今は、趣味(娯楽)を楽しみたいから	13.4	16
結婚するにはまだ若いから	12.6	15
異性とうまく付き合えないから	10.9	13
結婚したい人に巡り合わないから(婚活中)	7.6	9
自分の健康に不安があるから	5.9	7
家族の世話や介護をしているから	3.4	4
親や周囲が結婚に同意しないと思うから	3.4	4
結婚すると仕事をやめなければならないから	2.5	3
姓が変わるのに抵抗があるから	1.7	2
その他	8.4	10
特になし/分からない	13.4	16

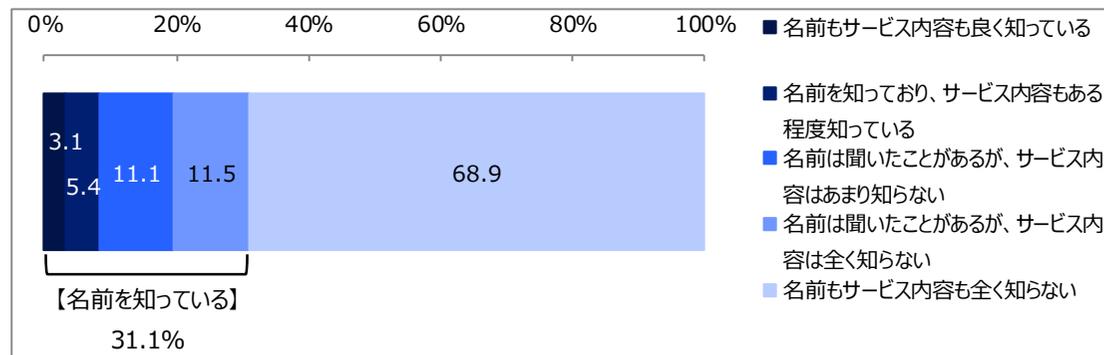


4 「いばらき出会いサポートセンター」の認知状況

◇ 「名前もサービス内容も良く知っている (3.1%)」、「名前を知っており、サービス内容もある程度知っている (5.4%)」、「名前は聞いたことがあるが、サービス内容はあまり知らない (11.1%)」及び「名前は聞いたことがあるが、サービス内容は全く知らない (11.5%)」を合わせた【名前を知っている】は31.1%となっている。

Q4.あなたは、茨城県が運営支援を行っている「いばらき出会いサポートセンター」について、どの程度知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
名前もサービス内容も良く知っている	3.1	31
名前を知っており、サービス内容もある程度知っている	5.4	54
名前は聞いたことがあるが、サービス内容はあまり知らない	11.1	111
名前は聞いたことがあるが、サービス内容は全く知らない	11.5	115
名前もサービス内容も全く知らない	68.9	689



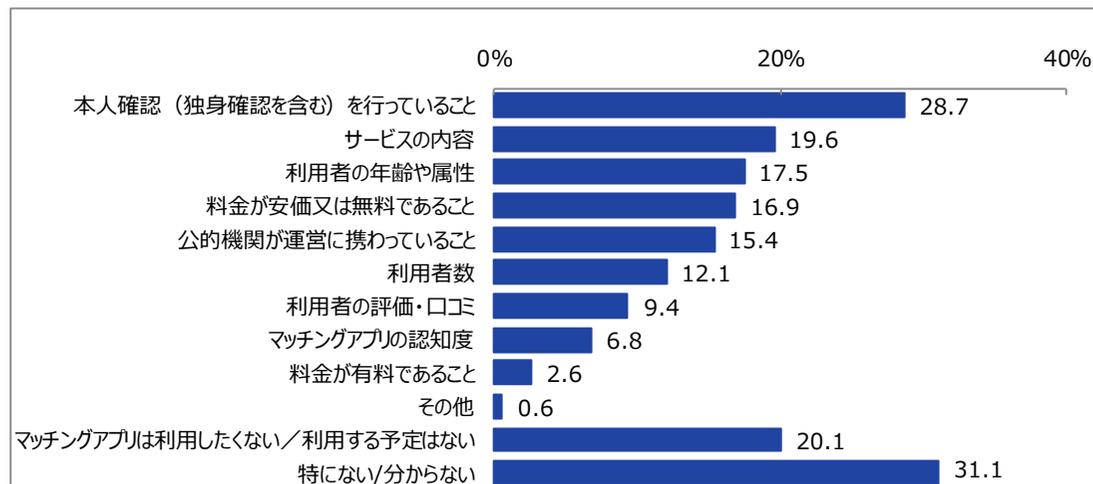
5 マッチングアプリ (システム) において重視すること

◇ 「本人確認 (独身確認を含む) を行っていること」が28.7%、「サービスの内容」が19.6%、「利用者の年齢や属性」が17.5%などとなっている。

◇ 一方で、「マッチングアプリは利用したくない/利用する予定はない」は20.1%であった。

Q5.いばらき出会いサポートセンターでは、AIを活用したマッチングシステムを運用していますが、もしあなた又は家族がマッチングアプリ (システム) を利用する(した)とき、重視することは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
本人確認 (独身確認を含む) を行っていること	28.7	287
サービスの内容	19.6	196
利用者の年齢や属性	17.5	175
料金が安価又は無料であること	16.9	169
公的機関が運営に携わっていること	15.4	154
利用者数	12.1	121
利用者の評価・口コミ	9.4	94
マッチングアプリの認知度	6.8	68
料金が有料であること	2.6	26
その他	0.6	6
マッチングアプリは利用したくない/利用する予定はない	20.1	201
特になし/分からない	31.1	311

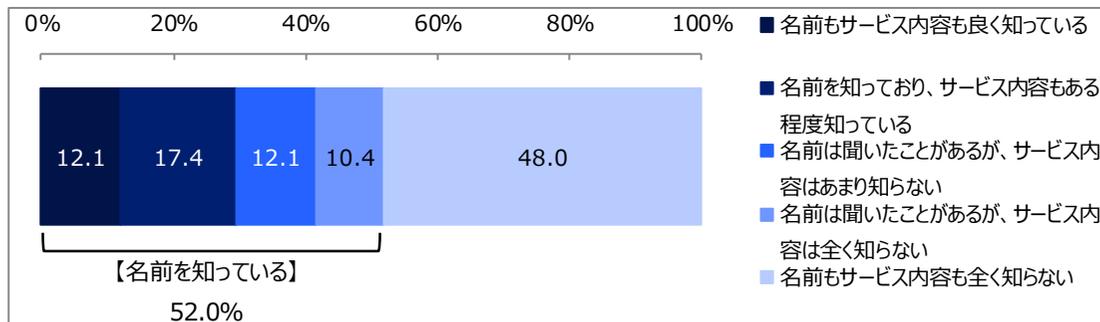


6 「いばらき Kids Club」カードの認知状況

- ◇ 「名前もサービス内容も良く知っている（12.1%）」、「名前を知っており、サービス内容もある程度知っている（17.4%）」、「名前は聞いたことがあるが、サービス内容はあまり知らない（12.1%）」及び「名前は聞いたことがあるが、サービス内容は全く知らない（10.4%）」を合わせた【名前を知っている】は52.0%となっている

Q6.茨城県では、妊娠中の方や18歳以下の子どもがいる家庭のお出かけをサポートするため、協賛店で提示すると様々なサービスを受けることができる「いばらきKids Club」カードを発行しています。あなたは、「いばらきKids Club」カードについて、どの程度知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
名前もサービス内容も良く知っている	12.1	121
名前を知っており、サービス内容もある程度知っている	17.4	174
名前は聞いたことがあるが、サービス内容はあまり知らない	12.1	121
名前は聞いたことがあるが、サービス内容は全く知らない	10.4	104
名前もサービス内容も全く知らない	48.0	480



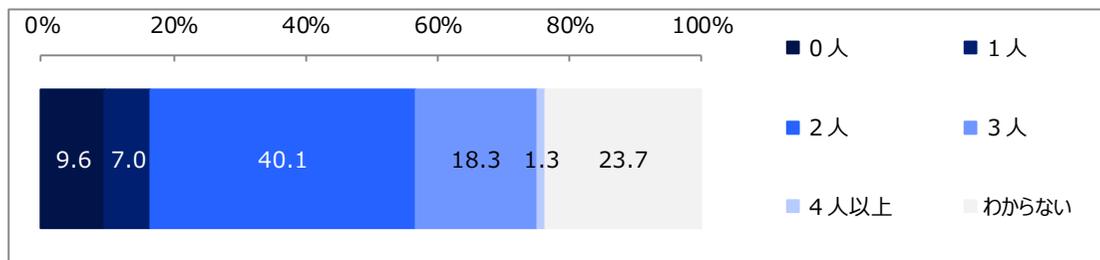
7 理想とするこどもの数

- ◇ 「2人」が40.1%で最も高く、「わからない」が23.7%、「3人」が18.3%と続く。

茨城県では、県民の子どもを産み育てる希望をかなえる視点から、県民が理想とするこどもの数と実際のこどもの数の差を減少させることを目指しています。

Q7.あなたが理想とするこどもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
0人	9.6	96
1人	7.0	70
2人	40.1	401
3人	18.3	183
4人以上	1.3	13
わからない	23.7	237

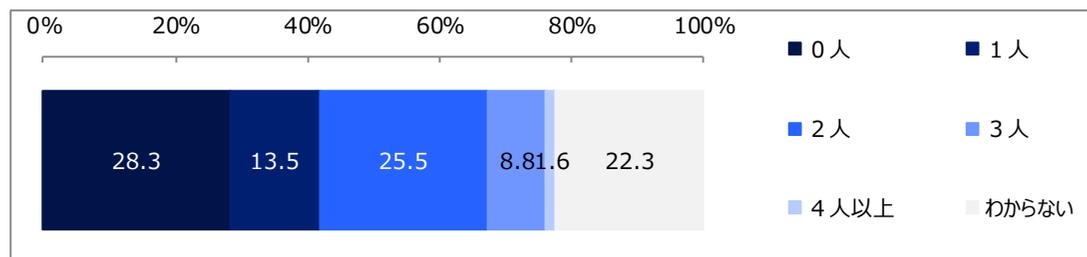


8 実際の（または予定している）こどもの数

◇ 「0人」が28.3%で最も高く、「2人」が25.5%、「1人」が13.5%となっている。

Q8.実際の（または予定している）こどもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
0人	28.3	283
1人	13.5	135
2人	25.5	255
3人	8.8	88
4人以上	1.6	16
わからない	22.3	223



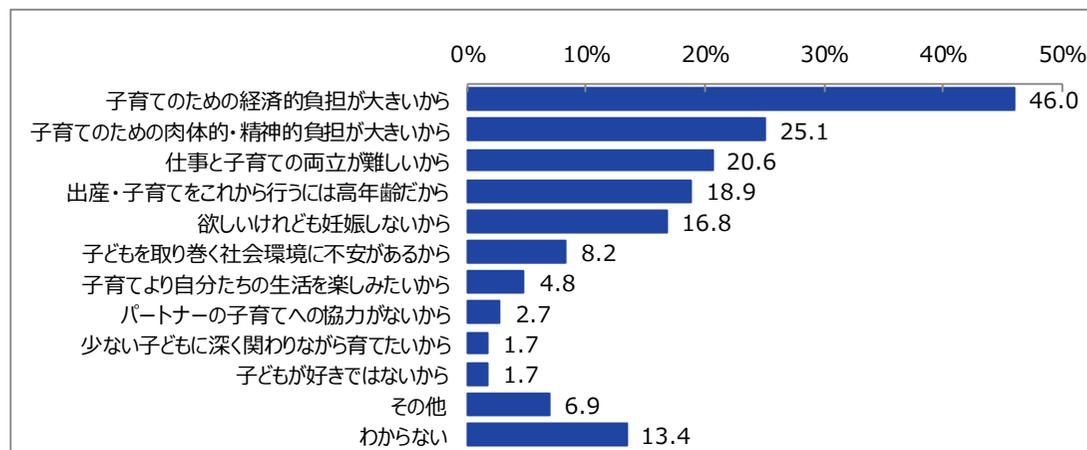
9 「理想のこどもの数」より「実際の（または予定している）こどもの数」が少ない理由

◇ 「子育てのための経済的負担が大きいから」が46.0%で最も高く、「子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから」が25.1%と続く。

(「理想のお子さんの数」よりも「実際の（または予定している）お子さんの数」が少ない方へ)

Q9.「理想のお子さんの数」より「実際の（または予定している）こどもの数」が少ない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	291
子育てのための経済的負担が大きいから	46.0	134
子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから	25.1	73
仕事と子育ての両立が難しいから	20.6	60
出産・子育てをこれから行うには高年齢だから	18.9	55
欲しいけれども妊娠しないから	16.8	49
子どもを取り巻く社会環境に不安があるから	8.2	24
子育てより自分たちの生活を楽しまたいから	4.8	14
パートナーの子育てへの協力がいないから	2.7	8
少ない子どもに深く関わりながら育てたいから	1.7	5
子どもが好きではないから	1.7	5
その他	6.9	20
わからない	13.4	39



■調査の目的

県民の少子化の現状を把握し、こども基本法第10条に規定する都道府県こども計画の策定や、今後の県施策の資料とするため調査を行う。

■実施概要

・実施期間：令和7年9月5日～9月15日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和7年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		108	248	92	365	187	1,000
性別	男性	56	127	49	189	99	520
	女性	52	121	43	176	88	480
年代別	18～29歳	16	42	16	71	34	179
	30歳代	15	42	16	61	29	163
	40歳代	21	53	19	80	40	213
	50歳代	28	61	21	86	44	240
	60歳代	28	50	20	67	40	205

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、全ての地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県北」2サンプル、「県央」6サンプル、「鹿行」3サンプル、「県南」6サンプル、「県西」11サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。